

第3回 産学官連携サミット

新技術で市場を拓く

2003年11月17日

日本ガイシ株式会社

代表取締役会長 柴田 昌治

日本ガイシの事業展開

- 1919年、電力用ガイシの国産化に成功した日本陶器（現ノリタケ）からガイシ専門メーカーとして分離独立
- 世界トップレベルのセラミック技術をベースに、事業の多角化と国際化を積極的に推進

電力関連
事業

セラミックス
事業

エンジニア
リング事業

エレクトロ
ニクス事業



送変配電用ガイシ



自動車排ガス浄化用
ハニカムセラミックス



下水処理プラント



インクジェットプリンター用
圧電マイクロセラミックス

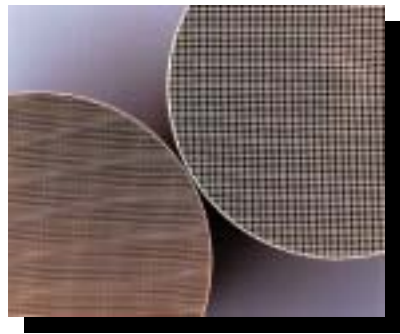


日本ガイシの新製品・開発品

- セラミックスの機能性を活かしたマイクロセラミックス技術
- 多孔質構造の制御技術を活かしたセラミックフィルター技術



インクジェットプリンター用
圧電マイクロセラミックス



超薄壁ハニカム
セラミックス



ディーゼル・パティキュ
レート・フィルター
(DPF)



電力貯蔵用ナトリウム
硫黄 (NAS) 電池



半導体製造装置用セラミックス



浄水プラント用
大型セラミック膜



水素分離用
パラジウム膜



固体酸化物型燃料電池
(SOFC) 用セル



日本ガイシの研究開発方針

◆ 事業領域 ~ Triple E

Energy

Ecology

Electronics

◆ 基本方針

戦略的成長

- 研究開発型企業を志向
- 新製品・新事業による成長



選択と集中

強い技術

No.1 or No.2

- コアテクノロジーはセラミックス
- 業績に関わらず高水準の研究開発投資を維持（売上高の約6%）

日本ガイシの研究開発戦略

◆ ニーズ創出型を志向

● 新しい市場やニーズの創出を目指す

例) 電力貯蔵用ナトリウム硫黄 (NAS) 電池
固体電解質のセラミックスの開発により
大規模な電力貯蔵を世界で初めて実用化



電力貯蔵用NAS電池

◆ アライアンスを重視

● 強いユーザー企業と密着した研究開発

例) NAS電池、半導体製造装置用セラミックス
プリンター用圧電マイクロセラミックス、等



半導体製造装置用セラミックス

● アライアンスの強化でスピードアップ

例) 産業技術総合研究所とセラミックスの
低環境負荷製造プロセスを共同研究



産総研中部センター